

今連盟だより

第22号

平成18年3月1日

題字 故綾部義彦氏
(静岡県家庭婦人バレー連盟4代目会長)

発行 静岡県家庭婦人バレー連盟事務所 〒436-0221 掛川市上垂木1061-1

皆さんと共に

名誉会長 中西満子

当連盟の歩みの中で、多くの方々からの、ご指導とご支援のもと、大きな体験と勉強をさせて頂きました。もう少し、私に力があればと悩み、苦しみも味わいましたが、今、振り返つて見ますと、平凡な家庭婦人では味わうことの出来ない楽しみと喜びを、多くの方々から与えて頂き、幸せな役員生活であつたと、つくづく皆さん方に感謝しております。

会長退任の挨拶の中で申しました通り、もう少し、いそじ、ことぶきに関わりを持つて何か役に立ちたいと思つておる昨今です。ママさん、いそじ、ことぶきとママさんバレーの移り変わりの道程の中で、十年余り、私が考えていたシニア委員会を十七年度から設立して下さり、その委員会の発展、充実こそがまさに生涯スポーツへの誇りある実践と信じるところです。

全国の球友から聞いたお話によりますと、ことぶきの部の上の「スーパーことぶき」とか「デラックスことぶき」の大会名で、開催され始めているところがあるようです。参加資格は、六十八歳以上の選手と聞いております。当県におきましても、該当チーム誕生もこの一、二年のうちにありそうな気配です。その方達に、夢で終わらせたくないと思っておりますが、皆さん方のご希望は如何でしょうか。

昨年、十一月末に奈良で開催されました、全国ことぶき大会への参加者の平均年齢は、六十四、二歳ですが、平均年齢の高いチームは、愛媛県、福岡県、北海道。東京都からの参加チームで、六十八歳以上です。なんと、

それに続く六十五歳以上のチームが九十二チームの内、十五チームもありました。各チームの中に、七十歳以上が数人おり、六十八歳以上がほとんどというチームもありました。そのまま、スーパーことぶき（仮称）に参加出来るチームも、ほつぼつ出てきました。

この様な方が、年だからと、ことぶきチームを出なくてはならない前に、好きなバレーチームも、ぼつぼつ出てきました。

この様な方々が、年だからと、ことぶきチームを出なくてはならない前に、好きなバレーチームも、ぼつぼつ出てきました。

居られると確信しております。

家庭の中で、ご主人と二人暮らし、また、子供さん夫婦やお孫さんとの暮らし、また、ご主人に先立たれて独り暮らし、それぞれの人生模様の中で、バレーと関わり、楽しみ、慰められ、勇気づけられて、生活の一部となつてバレーを続けていくことこそ、後ろに続くいそじバレー、ママさんバレーのそれぞれの分野の人達への道標であるその意義は大であると信じます。

これからも時々は、若い人達の活気あるバレー大会へも出掛け、皆さんから大きなエネルギーを充電させて頂き、私のバレーを人生の歩みを続けて行きたいと思います。

和そして輪

会長 湧美みつ

「人は人の中につけて、初めてその生命が輝く」私の好きな言葉の一つです。バレーボールをする事により、まさに家族の和、仲間の輪、そして全国への輪が広がり、強くなり、自分を磨き、相手を磨き、美しく輝き合う事につながると思います。チームの皆さんはそ

の輝きを増すために、家族や周りの人々の協力のお陰である事を心に銘じ、感謝の気持ちを忘れずに、日々目標に向かつて精進されておられる事と思います。私もその仲間達の輪（和）の中に居られる幸せを感じております。さて、偉大な中西前会長の後を受けて、会長としての重責に瀕れそうになりながら、一年が過ぎようとしています。

チームの皆さんに気持ちよくバレーを楽しんで頂くよう役員には「笑顔と大きな声の挨拶」をするよう、集まりのある毎に言い続け、それが実践されつつあることは、大変嬉しい事です。そんな和やかな雰囲気の中、行事が予定通り一つ一つ消化され、次年度に向かって役員一丸となり、頑張っております。

今年度から発足しました「シニア委員会」

は、中西名誉会長の長年の夢が実現したわけですが、シニアになつても「自分達の事は、自分達の手で」を合言葉にシニアチームの皆さんも素晴らしい結果を見せてくれました。生涯スポーツとしてのバレーの将来は安泰だと思います。

また、競技は真田杯に始まり、全国ママさん、コカ・コーラセントラルジャパンカップ、バボちゃん大会、静岡ろうきん杯等々に、たくさんのチームが参加され、心ゆくまでバレーを楽しんでいただけた事だと思います。

これらの大会に大きなかご支援をいたいた

関係の皆様方に厚くお礼申し上げます。

終わりになりましたが、バレーを愛し、家婦連を慈しみ育てて下さった、あの素敵敵な笑顔の、全国家庭婦人バレー連盟前田翠子前会長が逝去されました。皆さんとともに心よりご冥福をお祈り申し上げます。

バレーボール

理事長 戸塚美代子

十七年度連盟の大会、講習会、教室、そして東海ことぶき大会、東海大会を無事に終えることが出来ましたことは、諸先輩の皆様、県協会の皆様、そして力強く応援してくださる協賛各社の方々のお力添えのおかげと心から感謝申し上げます。

今年度から新設の大会、世界にはばたけママさんバレーボール「ローソンカップ」が加わり、一生に一度しか全国大会に出場できなかつた選手の皆さん、全国大会を目指して再挑戦できる大きな目標が出来ました。日々の練習にも熱が入ることでしょう。

バレーボールの中に仲間との楽しい語らいを求めて四十年、体調の悪いときも、心が傷ついて落ち込んでいたりいつもバレーボールに助けられてきました。私は、とつてバレーボールは心の支えであり元気の源です。こうして連盟の役員を勤めさせていただく事が出来ますのも、共にバスをする仲間たちがいるからです。

継続は力なりと申しますが、長い間、バレーボールを続けてきて感じることは、夢中に成れるものを持つことが心身の健康にとても良いと、いうことです。小学生のバレーボール指導を二十年間ほどして参りましたが、おかげで全国の指導者との出会いがあり、友情を交わす事が出来ました。バレーボールという一つのボールで老若男女、日本中、世界中のバレーボーラーと繋がっているなんて考えただけでも楽しくなります。思いやりの心を大切に、生涯バレーボーラーでいられたら…と思います。

バレーボールが大好き!!

副理事長 水口みさ子

静岡家庭婦人バレーボール連盟の事業の中には、県内の大会、講習会、バレーボール教室以外に、東海ブロックでの事業もあります。東海大会、講習会、リーダー研修会、そして、いそじ大会、ことぶき大会等ですが、本年度は、東海のことぶき大会を本県が担当しました。各県グループが参加し、4グループに分かれそれぞれ

感謝

副理事長 堀部裕子

「ありがとうございます」は最高、最強の光。あなたの周りに悲しくて、怒りがいっぱい、「ありがとうございます」という言葉を、空念佛でも思つた内容をご紹介します。

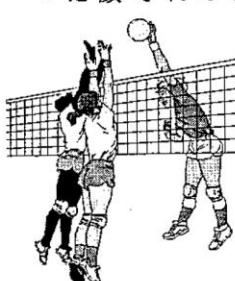
「ありがとうございます」という言葉を、空念佛でもいいから1回でも多く言うと、心がだんだん明るく温かくなり、イキイキはすみはじめます。「ありがとうございます」は笑顔の心そのものだから、「ありがとうございます」をたくさんいふと、笑顔が自然に出てくる自分になることができるのです。「ありがとうございます」をたくさん言う《感謝法》は、心の笑顔体操なのです。

一年間の大会行事を終えて、ほつとしています。今年度は新たに、LAWSON CUP大会がありチームの方は全大会に参加していくのは、難しかったのではないでしようか。大会の運営は大変ですが、皆様のご意見も取り入れていけるよう努力していくみたいと思っています。真田杯から始まり審判講習会、いそじ、ことぶき大会、コカ・コーラセントラルジャパンカップ、ろうきん杯、東海大会などさまざまな試合の中で、選手の人達や役員の方に色々と教えていただき、また自分としても反省する事が沢山ありました。一つの大会を運営していく

感心していました。ところがここ数年、少しは笑いが取れようになりました。今年の演目は、「ウォーターガールズ」です。駱駝の肌着の上下の上に水着、ゴーグル、キャップという出で立ちで立ちステージ上を泳ぎまわり、ビンクレディー、ハードゲイありで愉快にハジケた翌日は、各県対抗のリーグ戦です。前夜とは打って変わってプレーヤーの顔になります。即座にできるチームワークで、気付けばコートもベンチも一つになっています。これは私達役員に年に一度与えられたご褒美のような物だとは思いますが、バレーボール大好き人間達が集まつて結束し、翌年への新たなエネルギーの源となります。

心の笑顔体操

副理事長 栗田美春



く時の打合せなどから始まり、試合が終わり、処務報告が終わると担当者は、ほつとしますよね。それぞれの試合毎に毎回やつている事に感謝しております。

平成十八年度もスタートしますが、家族に感謝しながら運営に携わることができのだと思います。そして、年の納めに東海役員総会、役員親睦バーボール大会があります。本年度は三重県で開催されました。この総会の後には懇親会があり各県役員が趣向を凝らし出し物をいたします。その昔、静岡県はお世辞にも芸達者とは言えない状況で、いつも他県の素晴らしい芸に感心していました。ところがここ数年、少しは笑いが取れようになりました。大会で多くのチームの人達の笑顔が出来ることを楽しみに人達が楽しく試合ができると思っています。

さてもういながらチームの人達が楽しく試合ができると思つています。大会で

多くの中のチームの人達の笑顔

に出会えることを楽しみにがんばつて行きたいと思つています。

船出

総務委員長 平野富江

来期に向けて、長時間かけて主となる骨格が決まり、後はそれを支える役員を決めるだけ…。そんな思いから安心して旅行に出かけました。しかし旅先で受けた一本の電話。「あなたが総務委員長に決まりました」

想像すら出来なかつた大役に、しばし言葉を失ひながら、何かの間違いであつて欲しいと願いつつも、そんな戸惑つている自分に、大会は待つてくれませんでした。

旗の位置や張り方、賞状を書く上での約束ごと、送る人によつての電報の台紙の選び方などなど、すべての大會においても把握していなければならぬ自分の役割に、仕事は山ほどあり、その中でも、東海大会で、大先輩である各県の役員の前での司会は、失礼があつてはならぬ、失敗しないようにと、肩にのしかかる重圧に胸が押しつぶされそうになりながら、閉会式を終えることが出来、ほつとしたとたん、緊張の糸がほぐれ、固い床がふわふわと雲の上の歩いているような、そんな経験も思い出の一つです。

いつ沈むかもしれない自分という船を、漕ぎ出した四月から、なんとか、一年という港にたどりつき、さらに二年の港に向かうこの折り返し地点を大切に、いろいろな経験を自分の肥やしに出来るよう、努力して行きたいと思います。

大会運営について

競技委員長 荒沢みや子

振り返るとあつという間の一年でした。各種大会の地区予選、県大会と四月から十一月末まで試合の連続でした。

近年は大会の数も増え、チームにおいても選んで参加しているのか、各大会に於けるチーム数の減少が気になります。多くのチーム参加を得てこそ大会が大いに盛り上がりります、奮つての参加を期待します。

新米競技委員長として反省すべきは、大会の準備に心

を奪われ、当日の運営がしつかり出来ていたかという点です。近頃は各チームの力が接近し白熱した試合が多く、一試合にかかる時間が以前より長くなっている気がします。六月の全国ママさんの県予選では、時間切れとなり、決勝戦を草薙体育館でする事が出来ず会場を移して行つた事が強く印象に残っています。試合間の時間を短縮すれば、決勝戦までやれたのではと反省しています。

今後は更に研鑽を積み、スムーズな運営を心掛け、チームの皆さんが楽しく大会に臨み、力を遺憾なく発揮されることを望みます。皆様のご協力をお願いします。

雑感

審判委員長 堀見佳子



戸塚理事長のもと、新体制での連盟がスタートして一年。今思ふとあつという間の一年だつと感じています。自分自身も、審判長という大役を受け、不安いっぱいが始まった一年でした

が、始まってみると次から次へとやることがいっぱい、ゆっくり反省をしている時間がないほどでした。

学生時代、バレー・ボールとは縁の無かつた自分が今こうして家庭婦人連盟の役員をさせて頂いているなんて本当に不思議でなりません。友達を求めて地元のバレーのチームに入れてもらいそれ以来二十数年、望みどおりすてきな仲間と出会い、こうしてバレーを続けています。町内から県の連盟へ加入して、試合をやらせてもらい、同じ家庭婦人でも上には上のチームがこんなにあるのかと驚いたのを思い出します。地区の大会で負けると、次は県大会へ行けるようにと、練習に励んだものです。(いそじになつても、気持ちは同じ)

大会の運営がスムーズにいき、参加したチームの皆さんが気持ちよく試合に臨めるようにと、早くから準備をしていた役員の活動は、自分がその立場になつて初めてわかりました。役員になつてからは、大会に参加していくチームの皆さんのが気持ちよくスムーズに試合ができる

ように、審判講習会に参加された皆さんに参考してよかったです。たと思つてくれるようとに努力してきたつもりですが試選手あつての連盟であり、連盟あつてのチームでは城いのかなといつも思つています。

来年度も、大好きなバレー・ボールを楽しみながら、役員として自分が出来ることをやつていくこうと思います。一年間ありがとうございました。

指導普及委員会つて何?

指導普及委員長 登朝子

思いがけず指導普及委員長を仰せつかつて、はたと悩みました。「指導普及委員会つて何をやるるの?」と。

答えが見つからないまま十七年度がスタートしました。七月の東海ブロックリーダー研修会への参加や一月に予定されているバレー・ボール教室の準備を進めていくうちに、指導普及委員会はそのネーミングのとおり、普及も大きな業務なのではないか。バレー・ボールが楽しくて楽しくしてしかたがないと感じる人を一人でも多く作ることではないかと思い始めました。

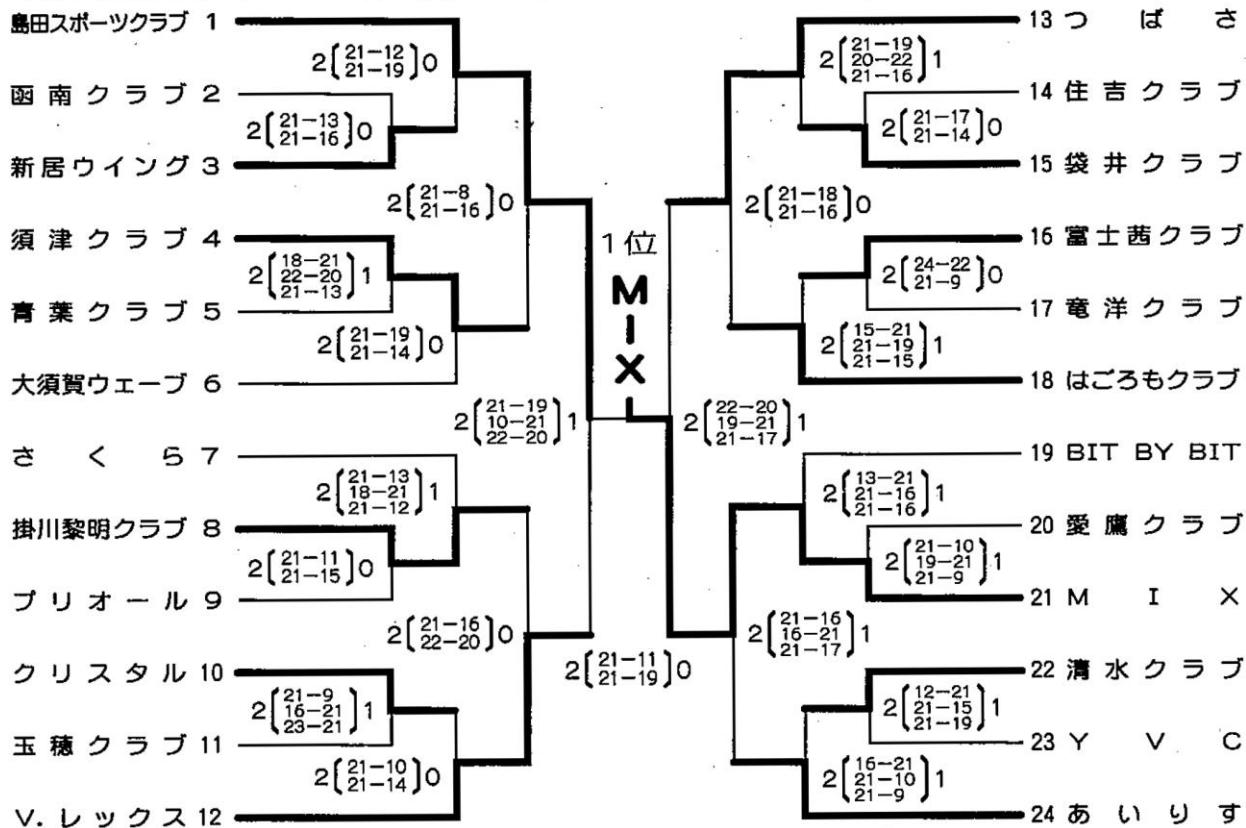
「楽しい」ということを、自分を通して考えてみると、幸運にも五十代になつてから、「ママさん」と「いそじ」の全国大会に出場することができ、万感な思いで開会式に臨んだこと。死にものぐるいでボールを追いかげたこと。仲間と学生時代に戻つたような時間を共有できたことなど、言い尽くせない感動を覚えたものです。この経験が現在の私を支えてくれているし、バレー・ボールを一生の友として身近に置きたい気持ちにさせてくれたと思つています。

しかし、「楽しい」と感じる場面は、全国大会だけではなく、一勝を目指し仲間とボールを追いかける日常の練習にあるかもしれません。人それぞれですが、私は是非多くのママさんに全国大会の「楽しさ」を味わっていたときたい。一日でも永くバレー・ボールとつきあつていたときたいと願つています。

皆さんの、それぞれの「楽しみ」追求に、少しでもお役に立つことができるよう努力したいと思っています。

サンドリーDAKARAカップ 第36回 全国ママさんバレー大会 静岡県予選大会

期日:平成17年6月5日(日) 会場:県営草薙総合運動場体育館



2位/島田スポーツクラブ

3位/つばさ

3位/V.レックス



全国大会(高知)を終えて

M.I.X主将 水野真理

長年の目標だった全国ママさんバレー大会への出場。毎年全国大会を目指していたが、昨年はケガ人が多く予選出場を断念。その思いもあってか、今年の予選は気合いが入っていたと思う。しかし、それが裏目に出たのか、西部予選準決勝で敗退。M.I.Xの悪い面が全て出てしまった試合だった。西部四位での県大会出場となつた。でもこれで、「もうはい上がるしかない!」と気持ちを切り替え、相手がどこであ自分達のバレーをやつて一つ一つ勝つていこう。と気持ちが一つになることができました。

そんな気持ちで臨んだ県大会。準決勝までの四試合全て三セット。会場を移しての決勝戦。みんな限界だった。が、気持ちが体を動かした。私は念願の全国大会出場のキップを手に入れた。そして全国大会。その場所に立っていることが嬉しくてたまらなかつた。交流試合が終了し、いざ本戦!しかし、悔しい一回戦敗退。自分達の力が出し切れずに終わってしまった。しかし、全国大会に出場できたことは私達の自信となり、さらに上を目指して頑張つていこう。と気持ちが一つになりました。

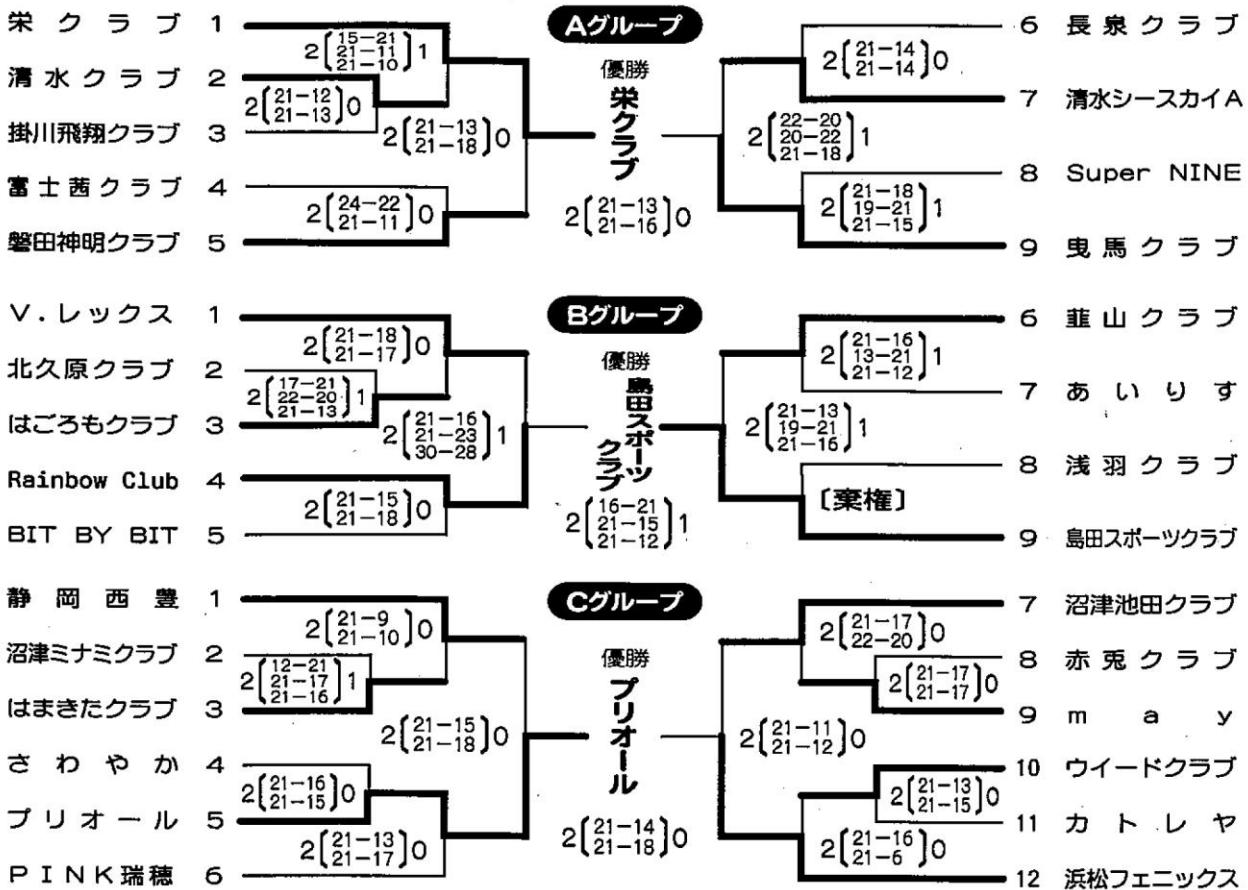
今回ここまでできたのもコーチの方々の熱心な指導と応援してくれた方々、そして家族の協力があつてこそだと思っています。最後に、全国大会に至つては、役員の方々にご指導いただきまして、大変お世話になりました。本当にありがとうございました。本当にありがとうございました。

全国大会審判派遣を終えて

向笠和子

高知県南国市で行われた全国大会に審判員として行かせて頂き、行きました。二十九人の審判員の方々が明るく元気な方ばかりで、とても良い雰囲気で少し安心しました。選手達にとって一生に一度の大会。一点一点の点数の重みを感じました。そして選手達が気持ちよく思いっきりプレーが出来る審判の大切さを痛感しました。また二十九人の審判員で毎晩日本全国の方言が飛び交う反省会で失敗談や情報交換など親睦を深める事ができ、閉会式後皆で抱き合いで泣きました。全国連盟の方々、高知の役員の方々、選手の皆さん、こんな未熟な私を送り出してくれた静岡県家庭婦人連盟の皆さん、本当にありがとうございました。

◎コカ・コーラセントラルジャパンカップ 第29回 静岡県家庭婦人バレーボール大会 ◎
日程:平成17年9月4日(日) 会場:東遠カルチャーパーク総合体育館さんりーな・掛川市B&G海洋センター体育館



安堵の瞬間

栄クラブ 秋山智恵子

おかげさまで、チームの目標である優勝カップを手にする事が出来ました。今年はセッターが産休。加えて怪我人続出など、体の面でもケアが重要視されメンバー全員揃つてのコンビ練習もままならない状態でした。不安と背中合わせで挑んだ試合でしたが、体の故障をおくびに出さず大役を果たしたセッターを始め、一人一人が「勝ち!」に拘つた強い精神力で、栄クラブの今年の目標である「二連覇」を達成する事ができました。勝利を得た瞬間、喜び以上に長く暑い夏が終わつたと、「ホッ」と胸を撫で下ろし安堵しました。

これからも、いろいろな出来事があると思いますが、バレーを続けていて良かったと思えるバレー人生を送りたいと思います。



島田スポーツクラブ 山田奈緒美

今年の島田スポーツクラブは、ベテランと若手がバランスよく構成されています。今回、Bグループでの出場となり、若手は先輩方が守ってきたAグループに早く戻りたい!と心密かに燃えていました。

経験不足の若手を要所でペテランが補い、Bグループで優勝することができ、とても嬉しかったです。

家族をはじめ、周囲のみなさんの支えがあって、大好きなバレーができることに感謝し、来年の三十回大会では、Aグループで優勝することを目標に、私たちの目指すミスのない全員バレーができるようチームの「和」に磨きをかけてがんばりたいと思います。



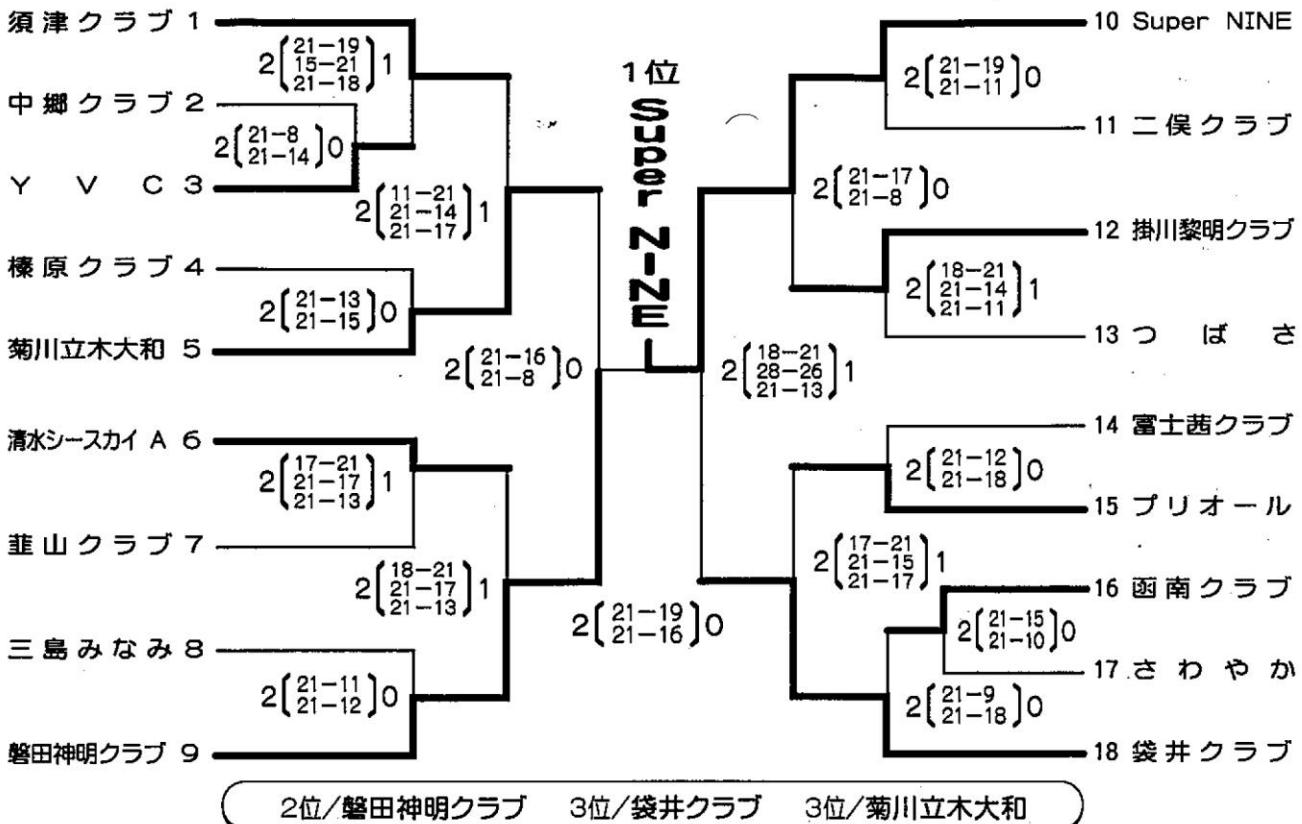
ブリオール 石橋晴美

私達チーム「ブリオール」は、県総合草薙体育馆のある、東源台学区に住んでいる人達を中心としたバレー大好き人間で結成されています。ママさんから始めた人や、社会人経験者まで、多彩な人材で週一の練習を頑張っています。まだ2年目のチームで右も左もわからず、多くの人に助けられ、ここまで来れました。

コカ・コーラセントラルジャパンカップでは、初出場、初優勝出来てとても嬉しく思います。これを励みにこれからも精進していきたいと思います。

最後にコカ・コーラセントラルジャパンカップ開催に、携わつた多くのスタッフの方々に感謝します。「ありがとうございました。」

世界にはばたけ！ママさんバレー 第1回 LAWSON CUP 静岡県予選大会
期日：平成17年11月23日(水) 会場：吉田町総合体育馆



がんばります

【東部】勝つために必要な物

須津クラブ（富士市）寿守周子

ママさんバレーで結果を出すには何が必要だろうか。まずは仲良きこと。皆、いつちよ前の出来上がった人間であるから、今さら、誰かの指導があるわけでもないから、個人が人間性の向上を目指し、お互いを尊重し合える仲間であることが大切だと思う。後は、鍛錬すること。ボールを使う練習は楽しくても、走ったり体操したりは怠けがちになる。筋力、瞬発力の衰えをいかに食い止めるか。鍛えなければ衰退していくのが体である。この二つを柱に、これらを、努力し続けること。須津クラブも、すっかり歴史らしき物が、後ろについてくるようになって、県登録して10年ほどになる。目標は皆で目指せば、心強いし、目標は大きいほど楽しい。10年過ぎて、ローソン杯東部優勝を果たし、継続もやはり大きな力であるとつくづく思った。

【中部】

住吉クラブ（吉田町）石田由美子

はじめまして、今年から登録した住吉クラブです。平均年齢三十四歳というまだ未熟なクラブで、初めての登録ということもあり、わからないことが多い、たくさんの人々に迷惑をかけています。子供がまだ小さい人が多いせいか、なかなか練習人が集まらず、試合直前に一回全員集まつて練習ができるれば良いほうです。試合で、テレビで見たことがあるチームと対戦することになつて試合前から「あつ、テレビの人達だ！」

「観たことある！」
と大騒ぎでした。強いチームと対戦できて、良い勉強になりました。
これからも、支えてくれる周りの人達に感謝しながら、楽しく続けられたらと思っています。

【西部】この一年を振り返って

袋井クラブ（袋井市）

飛田寿恵

今年は、正直、ひそかに“全国”を狙っていました。六月の全国ママさん県大会では、二回戦でつばさに三セットで敗れ、簡単に夢は打ち砕かれました。でも粘つて一セット取れた事が“やればできる”と気持ちを奮い立たせ、切り替えができました。東海家婦県大会では、準決勝でMIXと対戦。どちらの試合も「あと一点取れ」と大騒ぎでした。強いチームと対戦できて、良い勉強になりました。
これからも、支えてくれる周りの人達に感謝しながら、楽しく続けられたらと思っています。

チームのメンバーの誰もが、一点の重みを深く感じた試合でした。そうは言つても、今年は袋井クラブ結成して以来の好成績を残す事ができたのも事実!! 家族や監督、コーチの協力に感謝しています。大事な一点を笑顔で取れる様、近い将来、全国に翔く袋井クラブでありたいです。

家庭婦人バレー ボール 東海連盟行事



◆第8回東海家庭婦人バレー ボール ことぶき大会

開催期日

平成17年8月18日(木)

会場

御殿場市体育館

参加チーム

紺・ウエスタン・ポイント富士宮
にしきクラブ・じてんぱふじ・秋桜

伊豆球友会

東海ブロックリーダー研修会に参加して

神谷幸子

岐阜県の北方町総合体育馆で行われる、「東海ブロッククリーダー研修会」。どんなことを学ぶのかと少し不安に思いながら参加をさせていただきました。

講師は、吉田和夫先生と田中克子先生。優しい

なかにも厳しさを持つて教えていただけました。

内容としては、最初に講義、自分たちのチーム

は何を目指しているのか、しっかりと理解し、指導

していくことが大切である。次に実技、準備運動から基礎、そしてフォーメーション、得点につながるプレー、先読みしたポジショニング、状況に応じたプレーなどわかりやすく教えていただき、とても勉強になりました。最後にゲーム、他県の人たち共一緒に楽しくプレーをすることができ、有意義な時間を過ごすことができました。ありがとうございました。

東海ブロックリーダー研修会に参加して

中村まゆみ

リーダー講習会に行つてと言われて…。役員になつて一年目の、まだなにもわからない私でいいのかな?と思ひながら当日の朝、緊張して行きました。会場について他県の人達がたくさんいて、やつぱり私は場違いではないかと思ひながら講習会が始まりました。

講義からでしたが、体育館の中が冷房がすぐく寒くて少しか頭に入りませんでした。

実技では、基礎練習のやり方から実践ゲームまで、とても勉強になりました。その中でも一番印象に残っているのは、常に意識して練習することが大切だということです。まだまだ上手になりました。

講師は、吉田和夫先生と田中克子先生。優しい余裕があればみんなにもアドバイスしてあげたいと思います。参加して本当によかったです。

東海審判講習会に参加して

花村やよひ

県の役員になつて3ヶ月、この東海の審判講習会への参加のお話を戴き、審判経験も浅く未熟な自分がやつて来られるのか、と不安と心配ばかりでしたが、一緒に行かれた先輩方の優しいご指導のもと無事に二日間を終える事が出来ました。一からの勉強のつもりで、わずかな今までの審判経験の中での疑問や質問を解決出来ればという思いで臨みました。皆さんの当たり前が、当たり前じやないレベルなので低レベルな質問もかなりしてしまいましたが、優しく教えていただき本当に感謝しております。

◆「いにしえの奈良の都」につどう 第10回全国家庭婦人バレー ボール ことぶき大会

開催期日 平成17年11月24日(木)～26日(土)
会場 奈良中央体育馆 他
参加チーム 三島シワーズ・飯田シニアB

◆史と景の郷へ薩摩に集う 第17回全国家庭婦人バレー ボール いそじ大会

開催期日 平成17年10月28日(金)～30日(日)
会場 豊橋市総合体育馆
出場チーム 和楽・棟南クラブ・球趣会シニアA
静岡クラブB

クワフフライム 2 (21-9) ○ 竜北VYC(山梨)
クワフフライム 2 (21-10) ○ すきつぶ(鳥取)
* Aブロック2組2位(得失点差による)

平成17年度 県大会成績

月日	大会名	1位	2位	3位
4/3	真田杯	Aグループ 曳馬クラブ	栄クラブ	島田スポーツクラブ MIX
		Bグループ 菊川立木大和	袋井クラブ	静岡西豊 富士薙クラブ
		Cグループ つばさ	V.レックス	向山クラブ ビリージーン
6/5	全国ママさん大会県予選	MIX	島田スポーツクラブ	つばさ V.レックス
9/4	コカ・コーラ セントラル ジャパンカップ 県大会	Aグループ 栄クラブ	曳馬クラブ	磐田神明クラブ 清水シースカイA
		Bグループ 島田スポーツクラブ	Rainbow Club	垂山クラブ V.レックス
		Cグループ プリオール	浜松フェニックス	静岡西豊 沼津池田クラブ
9/25	東海大会県予選	曳馬クラブ	MIX	あいりす 袋井クラブ
11/6	静岡ろうきん杯	栄クラブ	曳馬クラブ	静岡西豊 磐田神明クラブ
11/23	LAWSON CUP県予選	Super NINE	磐田神明クラブ	袋井クラブ 菊川立木大和
6/11	全国いそじ大会県予選	クラブプライム	静岡クラブD	つくし 松風クラブ
6/11	東海いそじ大会県予選	和楽	榛南クラブ	玉趣会シニアA 静岡クラブB

主催 平成17年度 後援・協賛各社	真田杯 静岡県バレー ボール 優勝大会	サッポロビール(株) 東海北陸本部静岡支社
	サントリーDAKARAカップ 第36回全国ママさんバレー ボール 大会県予選	朝日新聞社・サントリー(株)・静岡朝日テレビ(株)ミカサ
	コカ・コーラ セントラル ジャパンカップ 第29回静岡県家庭婦人バレー ボール 大会	コカ・コーラ セントラル ジャパン(株) テレビ静岡
	静岡ろうきん杯 第31回静岡県家庭婦人バレー ボール 選手権	静岡県労働金庫・静岡朝日テレビ・朝日新聞社
	第1回LAWSON CUP 静岡県予選大会	ローソン(株)・朝日新聞社
	第32回東海家庭婦人バレー ボール 大会	朝日新聞社・ファイテン(株)

ご協力ありがとうございました

役員改選に伴い、新役員で慌ただしく船出した平成十七年度でしたが、会長、副会長のご理解を得て、戸塚理事長の舵の下、みんなで確認しあいながら、進んできた一年だったよう思います。

今年度は、東海家庭婦人バレー ボール大会の開催県でもあり、新しくローリングカップも増え、大会に追わってきた気もしますが、役員一同笑顔で今年度を終えることができました。

選手も役員も、「話・輪・和」。この三つの「わ」が、いいチーム作り、明るい連盟運営につながることだと思います。

(栗田記)

編集後記



新チーム紹介

《東部》

- ・沼津クラブ
- ・IZUCLUB
- ・スピード
- ・アザレアB
- ・ピノキオ
- ・SVC南伊豆

《中部》

- ・静岡ビーナス
- ・ひばり
- ・住吉クラブ

《西部》

- ・浜松なごみ
- ・Dash

どうぞ、よろしく。